

平成 23 年 11 月 4 日

各 位

会 社 名 株式会社大戸屋ホールディングス
 代表者名 代表取締役会長兼社長 三森 久実
 (JASDAQ・コード2705)
 問合せ先 常務取締役経営企画部長 濱田 寛明
 電 話 0422-26-2600

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年8月5日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成24年3月期 連結業績予想の修正

(1) 第2四半期(累計)(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 9,430	百万円 220	百万円 190	百万円 345	円 銭 59.48
今回修正予想(B)	9,441	108	83	301	51.90
増減額(B-A)	11	△112	△107	△44	
増減率(%)	0.1	△50.9	△56.3	△12.8	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年3月期第2四半期)	8,439	322	289	20	3.54

(2) 通期(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 19,150	百万円 615	百万円 560	百万円 420	円 銭 72.41
今回修正予想(B)	18,600	360	300	340	58.62
増減額(B-A)	△550	△255	△260	△80	
増減率(%)	△2.9	△41.5	△46.4	△19.0	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	17,240	631	575	161	27.76

[修正理由]

平成24年3月期におきましては、国内においては、東日本大震災や原発問題による影響に加え、夏場の節電推進により首都圏における夜間の来客数の減少が見られたものの、売上高については新規出店効果に加え、地方の既存店舗の売上回復により全般的には比較的堅調に推移しております。

しかしながら、利益面に関しましては、食材価格の高騰が進み原価が上昇傾向にある一方、利益金額が大きい新宿、渋谷、池袋等の大都市に立地する既存店舗の来客数減少による売上高の落ち込みが利益を圧迫し、第2四半期(累計)においては営業利益、経常利益及び四半期純利益ともに予想を下回る結果となりました。

当期下期については、上期に出店した新規店舗が出店コストを吸収して利益貢献してくる事に加え、本年11月から国内の物流体制を抜本的に見直して物流コストの削減を図るとともに食材原価の低減努力を続け、一方では店内における調理方法の改善と店舗人員のシフトコントロールを含めた店舗オペレーションの効率化を図る事により収益改善を図って参ります。

以上の結果、当期通期の連結業績予想は、売上高 18,600 百万円(前回発表予想比 2.9%減)、営業利益 360 百万円(同 41.5%減)、経常利益 300 百万円(同 46.4%減)、当期純利益 340 百万円(同 19.0%減)に修正いたします。

(注) 上記業績予想等につきましては、本資料作成時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上